

第26回谷本清平和賞 受賞者 サーロー節子氏 (授与式 2014年 11月 16日)



【受賞理由】被爆の惨状を自身が体験し、原爆の恐ろしさは後世の記憶に留めねばならないとの思いから、永年にわたり北米を中心に世界の各都市において 被爆体験証者としてヒロシマの実情を語り伝えています。特に国際平和会議等においては、国際社会の理解と賛同を期待して、被爆証言をとおして反戦反核を強くアピールしています。また日常では、若い世代へ原爆被爆の伝承と平和教育の推進に尽力されています。このように、半世紀にわたり海外を拠点として、核兵器廃絶と平和な世界の実現を訴え続けられています。よって、谷本清平和賞の趣旨に則り顕彰することとなりました。

第27回谷本清平和賞 受賞者 秋葉忠利氏 (授与式 2015年 11月 15日)



【受賞理由】ヒロシマの願いは 世界の人々から理解されねばならないとしてアキバプロジェクトを創設されました。広島市長在任中は、市政において行財政改革に努める一方、平和市長会議会長として加盟都市の拡大により国際的な世論形成の醸成を図り、この活動の集大成として2020ビジョンを提唱し核廃絶への道筋を示しました。近年は 次世代への平和教育として広島・長崎講座開設をはじめ幅広く活動されています。このように高い識見とグローバルな視点から核兵器の廃絶と恒久平和の実現を世界に向けて発信し続けています。よって、谷本清平和賞の趣旨に則り顕彰することとなりました。

谷本清平和賞の受賞者・団体

第1回 1987年	ノーマン・カズンズ氏	第13回 2001年	河本一郎氏
第2回 1988年	フロイト・シュモア氏	第14回 2002年	中沢啓治氏
第3回 1990年	栗原貞子氏	第15回 2003年	吉永小百合氏
第4回 1991年	森瀧市郎氏	第16回 2004年	平岡 敬氏
第5回 1992年	今堀誠二氏	第17回 2005年	新藤兼人氏
第6回 1994年	ジョン・ハーシー氏	第18回 2006年	学校法人広島女学院
第7回 1995年	ヒロシマを語る会	第19回 2007年	在韓被爆者渡日治療広島委員会
第8回 1996年	金 信煥氏	第20回 2008年	高橋昭博氏
第9回 1997年	村井志摩子氏	第21回 2009年	平野伸人氏
第10回 1998年	江口 保氏	第22回 2010年	夏の会
第11回 1999年	伊藤隆弘氏	第23回 2011年	坪井 直氏
第12回 2000年	ワールド・フロント・シブ・センター	第24回 2012年	碓井静照氏
		第25回 2013年	小倉桂子氏



第25回 日本語による世界平和弁論大会 (授与式 2014年 11月 16日)

最優秀賞受賞者 任 欣雨 (ニン キンウ) さん

題名 「ゆく・つくる 平和の懸け橋」 舟入高等学校 (中国出身)

【要旨】私が今見ている光景は、「ゆく・つくる」野口勇さんが未来への希望を抱き設計した、平和を表す平和大橋と西平和大橋です。日常の平和のあるところこそが心の拠り所かもしれません。中国の雑誌で、私と同世代の14歳のシリアの少女が平和運動を迫害され傷害を受けましたが、残った片目には絶対に負けない強さと真剣の光が宿っていたことを知りました。これは私にとって衝撃でした。今の中日関係は、決して順調ではありませんが、私たちが努力していけば、遠くない未来、両国の間では丈夫な、絶対に崩れることのない一つの平和の大橋ができるでしょう。



最優秀賞を受賞するノイバートさん



出場者全員が舞台上で集う

第26回 日本語による世界平和弁論大会 (授与式 2015年 11月 15日)

最優秀賞受賞者 ノイバート ユリアさん

題名 「地球人だから」 ノートルダム清心高等学校 (ドイツ出身)

【要旨】日本とドイツは似ている点があります。恐ろしい決定をし、戦争を始めてしまったことです。しかし、現在は両国とも自分たちの大きな過ちから学んで、過去の戦争を乗り越えて、世界中の人と仲良くしなくてはならないと思っています。帰国したら、私たち留学生の義務は、人々に日本で学んだ平和学習を伝えることです。一人の力は小さいけれど、みんな一生懸命に平和のために行動したら、世界平和は実現するというのを伝えたいです。



世界平和弁論大会最優秀賞の受賞者

第1回 1990年	王 志松さん (中国)	第13回 2002年	朴 紅梅さん (中国)
第2回 1991年	カン・ハサンさん (インド)	第14回 2003年	ケリー・スミスさん (アメリカ)
第3回 1992年	アリン・チャワンライさん (マレーシア)	第15回 2004年	スガアティ・チャンドルさん (タイ)
第4回 1993年	榮 勇さん (中国)	第16回 2005年	任 麗潔さん (中国)
第5回 1994年	アン・セシルさん (フランス)	第17回 2006年	ジャルワン・ティアンクンさん (タイ)
第6回 1995年	アリン・チャム・チャイットさん (タイ)	第18回 2007年	エセンジャン・アイジヤさん (カザフスタン)
第7回 1996年	ハトリヤ・オムスさん (ベネチア)	第19回 2008年	スカンティ・ハラスリヤさん (スリランカ)
第8回 1997年	フルカト・フェイスさん (中国)	第20回 2009年	ルムザヤ・エルネハットさん (モンゴル)
第9回 1998年	アリン・マナマラさん (オーストラリア)	第21回 2010年	ヌルダナ・アディルハリアさん (カザフスタン)
第10回 1999年	刘 艶さん (中国)	第22回 2011年	アシカバ・エリ・アディナさん (カザフスタン)
第11回 2000年	リスキー・ブトリさん (インドネシア)	第23回 2013年	スマイルカワ・マティヤさん (カザフスタン)
第12回 2001年	ホアン・パト・ロント・サさん (ロシア)	第24回 2014年	サラ・バネリスさん (ドイツ)